



米原曳山まつりについて

米原の曳山祭は鎮守湯谷神社の祭礼に長浜の曳山祭を見習って、江戸時代の後半期に始まったといわれています。『近江国坂田郡志』によると、「明和7年（1770年）、3輦の曳山を造り、祭日には児童をして狂言を演ぜしむ」とあります。

現在、存在する曳山が明和7年（1770年）に一斉に建造されたとは考えられませんが、交通の要衝としての繁栄にともない、明和年間（1764～72年）のころ、長浜をお手本にして、米原においても曳山狂言が始まったものと思われます。その後、曳山の造り替えなどが行われて、今日に至っているのでしょう。

曳山祭は、北町の旭山組・中町の松翁山組・南町の壽山組の3つの組に分かれて実施されています。各山組とも祭の運営・運行等は、主に若連中によって行われ、相談役として世話方（若衆を卒業した人）がいます。子供歌舞伎の役者は各自町の小学1年～6年の男の子が演じます。宵宮の登り山、本祭の渡御、奉納狂言、後宴の自町狂言等、みどころがいっぱいです。

米原曳山まつりは子ども歌舞伎が主役。子どもたちの想いを未来へ！

250年の伝統を守りたい



クラウドファンディング
挑戦中！！

様々なプランをご用意しています
応援よろしくお願いします

実施期間 8/20～10/20



READYFOR

米原へのアクセス

◆新幹線をご利用の方

大阪 16分 京都 23分 米原 15分 岐阜羽島 10分 名古屋

◆東海道本線をご利用の方

京都 45分 彦根 5分 米原 5分 醒井 26分 大垣

◆北陸線をご利用の方

敦賀 36分 長浜 9分 米原 10分 彦根 40分 八日市

◆近江鉄道をご利用の方

彦根 10分 彦根 40分 八日市

LINE 公式ラインを作成しました！

米原曳山祭保存会の公式ラインのQRコードです。
このアカウントでは、まつりの最新情報を定期的に
配信していきますどうぞお楽しみに！
まずはお友達登録をよろしくお願いいたします！



滋賀県選択無形民俗文化財



2026 (令和8年)
10月10日 土
11日 日
12日 月
宵宮
本祭
後宴

主催 米原曳山祭保存会
<http://www.biwa.ne.jp/~honzonkai/>

協賛 米原市・米原市商工会・米原金融協議会

アクセス JR「米原駅」
近江鉄道

主催 米原曳山祭保存会 <http://www.biwa.ne.jp/~honzonkai/>

協賛 米原市・米原市商工会・米原金融協議会

旭山組 運行表



10 土
 1 10:30~11:30
 2 14:25~15:25
 3 17:00~18:00

11 日
 1 12:00~13:00
 2 14:15~15:15
 3 16:00~17:00
 4 19:30~20:30

12 月
 1 12:15~13:15
 2 14:30~15:30
 3 18:00~19:00
 4 20:00~21:00

宵宮 登り山
10 土 20:30

本楽 おわた
御渡り
11 日 9:15
旭山本陣前出発

最新の運行状況等は
旭山組のSNSでチェック!



祭りの映像を中心に
アップしていますので、
ぜひご覧ください。

※開演時刻と位置については、作成時点(令和8年8月)のものであり、関係機関との調整や当日の天候によっては変更となる場合があります。

電番軸
北 町

あさひ やま
旭山組

三味線
豊澤 龍太

太夫
竹本 乾太夫

振付
千川 貴楽

三役



中川 陽太
(一年生)



土田 翔海
(一年生)



土田 結琉
(五年生)



後藤 樹
(六年生)



中川 瑛太
(三年生)



本城 凱
(四年生)

三番叟相つとめます
子ども歌舞伎役者

伽羅先代萩
奥御殿の場



あらすじ

大名・足利頼兼は、お家乗っ取りを企む仁木弾正ら悪人たちの計略で、遊興にふける日々を過ごしています。隠居を命じられた頼兼に替わって当主となったのは幼い鶴千代。幼君を守るため、乳母の政岡は、鶴千代が「男を嫌う病氣にかかった」と偽って人を遠ざけ、毒殺を恐れて、食事でも自らの手で用意します。

足利家転覆に加担する官領(幕府の重臣)・山名宗全の妻・栄御前が、鶴千代の見舞いに訪れます。一同が出迎えるなか、見舞いの菓子ですすめられ困惑する政岡。絶大な権力を持つ官領家の品を断る事はできません。そこへ千松が飛び出し、菓子を口にします。菓子は毒入りで、苦しむ千松を見たハシは、悪巧みの露見を恐れ、千松の首に懐剣を突き立てます。しかし政岡は顔色を変えません。それを見た栄御前は、政岡が千松と鶴千代を取り違えて育て、お家横領を計画したと邪知。千松の死後、秋かに悪人一味の連判状をたくして去ります。(一人になった政岡は、日頃の言い聞かせを守って主君を救った千松をほめながらも泣き崩れ、再び現れたハシを成敗します。)

松翁山組 運行表



宵宮 登り山
10日 20:30

本楽 おわた御渡り
11日 9:00
米原市役所
本庁舎 出発

10日 宵宮
1 12:15~13:15
2 15:40~16:40
3 19:00~20:00

11日 本楽
1 13:45~14:45
2 16:40~17:40
3 18:50~19:50
4 21:30~22:30

12日 後宴
1 12:00~13:00
2 14:00~15:00
3 17:30~18:30
4 20:45~21:45

式番軸
中町

しょう おう ざん
松翁山組

豊澤 三味線
賀祝

竹本 太夫
龍豊

岩井 振付
小紫

三役



古澤 袖萩
紘都 (四年生)



高木 安倍貞任
陽太郎 (五年生)



川崎 平儀直方
大知 (六年生)



池原 お君
律希 (二年生)



山内 ハ幡太郎義家
琥太郎 (二年生)



川崎 浜夕
新大 (三年生)



田辺 安倍宗任
智也 (四年生)

奥州安達原 三だんめ
袖萩祭文の場

子ども歌舞伎役者



あらすじ

時は平安時代後期。朝廷は源頼義・義家親子を派遣して、奥州の豪族、安倍頼時を「前九年の役」で討伐しますが、生き残った息子の安倍貞任と弟の宗任は、敵である源義家に復讐する機会をうかがっています。

舞台は天皇の弟、環宮の御殿。その環宮が誘拐されたため、養育係であった平儀直方は責任を問われ、今日にも切腹の運命です。雪が降りしきるなか、御殿に盲目の袖萩と娘のお君が訪ねてきます。袖萩は、直方の姉娘でしたが、父に背いて、敵対する安倍貞任の妻になったため勘当の身。父の難儀を聞きつけて館にたどり着いたものの、面会はないまま。不憫に思った母の浜夕が現れ、何か願いがあるなら祭文を語って聞かせるよう促します。

そこで袖萩は、歌祭文に事寄せて三味線を弾き、自らの親不孝を詫言いますが、寒さで癪を起して倒れてしまします。そんな母を必死でお君が介抱し、雪の中で家族の切ない情愛が交錯します。さて、この御殿には、直方の妹娘、敷妙の夫となったハ幡太郎義家、直方の切腹を見届けにきたという勅使、桂中納言教氏に化けた安倍貞任、義家に接近すべく、罪人として連行されてきた安倍宗任も居合わせていました。それぞれの思惑が交錯するなか、後半で直方と袖萩が自害すると、物語は意外な結末を迎えます。

米原曳山祭松翁山SNSもチェック!



祭りの映像を中心にアップしていますので、ぜひご覧ください。

YouTubeチャンネルもあります!

